

その政務活動費、市民に説明できますか？



議会運営委員会

10月6日の議会運営委員会において、政務活動費を用いて研修を受ける場合、報告書の提出を義務付けることを決定しました。これは、生駒市議会公明党の成田智樹議員と元・日本維新の会の梶井憲子議員が昨夏に参加した研修費や旅費について、住民監査請求があったことを受け、使途について市民に説明責任を十分に果たす必要があるとして、塩見らが提案していたものです。これまで研修費の請求は、研修のレジュメ等受講資料を添付すればいいだけでした。

東京での研修受講は合理的か

住民監査請求の請求人は、両議員が全4講座のうち、8月1日、2日に東京で3講座を受講し、残る1講座を8月8日に京都で受講したことについて、「すべてを京都で受講することが合理的であり、仮に受講できない理由があっても、東京で全講座を受講できた」と指摘しました。また、政務活動費の取扱い規定では、政務活動とそれ以外の活動を按分できないため、政務活動外の行動があれば全額返還すべきと主張しました。さらに成田議員については、近鉄特急利用証憑がないこと、8月6～7日に行われた和束町での宿泊視察の領収書内容が不明である点も問題視され、これらの費用の返還も求めていました。

監査結果は住民の請求を「棄却」

監査結果は、以下の判断理由によって住民の請求を棄却するものでした。
【成田議員について】
①4講座すべてを東京で受講しなかった合理性は乏しいが、政務活動費の按分規定は議員の広報紙に関するものであり、

研修費や旅費の返還は不要。
②京都研修に要した旅費 2,700 円については既に返金済みで、請求理由は消滅。
③近鉄特急の証憑添付がなくても、市の旅費条例や規則で急行料金に関して基準がないため問題なし。
④和束町の領収書は宿泊費と確認され、使途不明ではない。
【梶井議員について】
東京で3講座、京都で1講座を受講したことに不合理性はなく、3講座目終了後も、成田議員の政務活動外の活動が終わるのを待って帰路を共にしたのみで、政務活動と私的活動の混在は認められない。

監査委員の判断に疑問も

しかし、監査委員の判断のうち、①の「按分規定は広報紙に限る」、③の「近鉄特急の証憑は必要ない」という点は、これまでの塩見の認識とも異なり、実際に運用している議員側の感覚からかけ離れた監査結果には疑問が残ります。市民への説明責任をより果たせるよう、報告書提出以外にも、政務活動費の運用と報告方法の見直しが必要です。

■東京と京都と同じ内容で開講された研修案内のチラシ

4講座申し込みの先着5団体は、レジュメで取り上げます

地方議員研究会

公共施設特別講座

10:00～12:30 公共施設問題の基礎

8/1 in 東京

14:00～16:30 学校統廃合と公共施設問題

8/7 in 京都

10:00～12:30 公共施設更新費用と財政的な視点

8/2 in 東京

14:00～16:30 インフラ老朽化の課題

8/8 in 京都

森 裕之

公明党会派は追加返還

なお、公明党会派は、監査請求中に京都研修分の旅費 2,700 円のみを市に返還し措置を免れましたが、監査結果が出ると同時に、さらに東京研修費、和束町宿泊費計 91,565 円を返還しました。返還理由の説明はありませんが、実質的に住民の主張を認めた形となりました。

監査結果はこちらから→

サロン しおみ

茶論・de・403

日時:11月22日(土)
13:30～16:00

参加費無料。
途中入退室も可能です。

場所:南コミュニティセンターせせらぎ
セミナー室 203

編集後記

●実質 8 月 22 日の議案説明会から始まった 9 月定例会は、補正予算の追加提案もあって会期延長し、10月6日ようやく閉会しました。気づけば季節は夏から秋に。そうこうしているうちに 12 月議会が始まります。●12月議会には、性懲りもなく、またコミュニティ再構築の補正予算が提出されると聞かえてきます。お仕着せ住民自治でいいのか、あり方が問われます。●首長との関係ではなく、ものごとの本質を考えられる議会に！12月議会は12月3日から始まる予定です。ご傍聴ください。



塩見 牧子

しおみ塩見まきこ

市議会 newsletter 2025 年／秋号



秋といえば運動会 僕らも負けずに飛び込み大会 撮影：山野マサ子 撮影場所：富雄川

Contents

Page2	リクルート社に中抜き疑惑、議会はどう対応したか
Page3	近鉄東生駒駅エレベーター維持管理・補修・更新費用 未来永劫、青天井の債務負担？ / コミュニティの再構築に 4,300 万円？！ / 一般質問から①紙おむつごみの再資源化を ②排外主義にどう対応するか？
Page4	その政務活動費、市民に説明できますか？ / 茶論・de・403 / 編集後記

※各記事の見出しの QR コードからより詳しいブログ記事をお読みいただけます。

塩見牧子（しおみまきこ） 1965 年 3 月 8 日大阪生まれ。1972 年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て 2007 年 4 月、生駒市議会議員に初当選。①将来世代に元気なまちのバトンを渡す、②誰もが生きづらさを感じることなく暮らせる共生社会をつくる、③フェアで市民本位の市政運営を築くための取組みやしくみづくりの提案を活動公約としています。

塩見まきこのプロモーションビデオ(PV)

「“まっすぐ”が通る生駒に！」



blog



Facebook



X (旧 Twitter)



バックナンパー



ご意見はこちら